

令和 3 年度北区健康福祉課主要事業（1 2 月末現在）

基本目標 1	気づきあい・思いやり・助けあいの意識を持った地域づくり	
基本方針 2	お互いに思いやり、助けあえる関係を作ろう	
	2 地域包括ケアシステムの推進 （モデルハウスの運営）（高齢介護係）	・・・ P. 1
基本目標 2	つながり、交流し、支えあう地域づくり	
基本方針 2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう	
	2 地域包括ケアシステムの推進 （支え合いのしくみづくり会議の開催）（高齢介護係）	・・・ P. 2
	3 子育て応援カフェ（区づくり事業 R2～R4） 「早通健康福祉会館 ベビーカフェびよびよ」（児童福祉係）	・・・ P. 4
基本目標 3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり	
基本方針 1	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう	
	1 大学生による家庭介護セミナー（区づくり事業）（高齢介護係）	・・・ P. 5
	2 児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」（児童福祉係）	・・・ P. 6
基本方針 2	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう	
	1 ふゆっこまつり開催（区づくり事業 R2～R4） 「第 14 回北区ふゆっこまつり」（児童福祉係）	・・・ P. 8
基本目標 4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり	
基本方針 1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう	
	1 各種がん検診の周知（健康増進係）	・・・ P. 9
	2 特定健康診査の受診率向上（健康増進係）	・・・ P.1 0
	5 北区もの忘れ検診（区づくり事業 R2～R4）（健康増進係）	・・・ P.1 3
	6 始めよう！ウオーキングで健康づくり（健康増進係）	・・・ P.1 5
	7 健康増進普及講習会（健康増進係）	・・・ P.1 6
	8 生活習慣病予防教室（血圧元気塾）（健康増進係）	・・・ P.1 7
	9 フレイル予防	・・・ P.1 9

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標1	気づきあい・思いやり・助けあいの意識を持った地域づくり		
基本方針2	お互いに思いやり、助けあえる関係をつくろう		
2	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (モデルハウスの運営)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 住民同士の支え合いのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。</p> <p>[事業内容] 北区地域包括ケア推進モデルハウス「松浜こらぼ家」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日 平成29年3月23日 ・開設場所 北区松浜本町2-13-7 ・運営団体 松浜こらぼ家運営委員会 代表 上松 鉄雄 ・実施内容 ティールーム … 月曜日から金曜日 午前10時から午後4時 利用料無料（コーヒー100円） バザール（毎月2日）、いきいきこらぼ体操（毎月第2水曜日） やさしい太極拳とよもやま話（毎月第4月曜日） 作業療法士による生活相談（平成29年7月から毎月1回） 保健師による健康相談（平成29年4月から毎月1回） ※新型コロナウイルス感染症対策のため変更する場合あり 		
事業実績	<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日及び時間 月曜日から金曜日 午前10時から午後3時 ・開設日数（12月末）：100日 ・利用者数（12月末）：延べ1,862人 1回あたり18.6人 <p>※60歳以上の方の利用が中心だが、小学生がまち歩きで立ち寄り利用あり。 ※新型コロナウイルス感染症予防のため、9月3日～16日は休止。 ※令和3年7月16日開催の地域の茶の間交流会 in 北区にて、茶の間を継続していくための工夫や地域の茶の間の在り方等について、代表の上松氏が講演</p> <p>[課題と今後の方向性] 高齢化の進展の中、単身世帯が増えるとともに、地域によっては激しい人口減少が起こることも想定されることから、地域での交流や居場所作りはますます重要となる。引き続き支え合いのしくみづくり相談員と連携しながら進めていく。</p>		

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2	つながり、交流し、支えあう地域づくり		
基本方針2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう		
2	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (支え合いのしくみづくり会議の開催)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 地域における支え合いのしくみづくり、支え合い活動の推進を図るため区域および日常生活圏域ごとに「支え合いのしくみづくり会議（協議体）」を設置し、コーディネート役である支え合いしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）を配置する。</p> <p>[事業内容] 区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置 平成27年12月25日 ・構成団体 北区自治協議会、北区民生委員児童委員連絡協議会、北区老人クラブ連合会、北区豊栄地区コミュニティ協議会、北地区連合自治振興会、シルバー人材センター、JA新潟市、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、JA新潟厚生連豊栄病院、豊栄商工会、北新潟商工振興会、新潟医療福祉大学、にいがた北青年会議所、北区社会福祉協議会、北区健康福祉課 ・事務局 北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 北区社会福祉協議会 須佐佳純 <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置「葛塚・木崎・早通圏域会議」 平成28年 8月 5日 「松浜・南浜・濁川圏域会議」 平成28年10月11日 「岡方・長浦圏域会議」 平成28年12月16日 ・構成団体 圏域内コミュニティ協議会、圏域内民生委員児童委員協議会、圏域内老人クラブ代表団体、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、地域包括支援センター、豊栄商工会、北新潟商工振興会、民間企業、医師会推薦者、北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 葛塚・木崎・早通圏域 北区社会福祉協議会 三浦 美穂子 松浜・南浜・濁川圏域 愛宕福祉会 白川 弘美 岡方・長浦圏域 豊聖福祉会 本間 啓幸 		

事業実績	<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月16日、地域の茶の間交流会 in 北区を開催。地域の茶の間の活動に関する情報交換や交流を図った。 ・令和3年10月、支え合いのしくみづくり広報誌第3号を区内全戸に配布。 ・令和3年11月5日、「住民主体の訪問型生活支援」実施団体情報交換会を開催。各団体の活動の活性化やネットワークづくり、さらなる支え合いの意識醸成を図った。 <p>区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日 <ul style="list-style-type: none"> 第2層協議体進捗状況報告 支え合いのしくみづくり出前講座等開催状況報告 地域の茶の間交流会 in 北区開催報告 「住民主体の訪問型生活支援」実施団体情報交換会開催報告 支え合いのしくみづくり広報誌第3号発行について 北区宅配・生活支援サービス取扱店一覧冊子に関する今後の取り組みの方向性(案)について <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <p>「葛塚・木崎・早通圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議は令和4年2月予定 <ul style="list-style-type: none"> 各地区部会進捗状況報告 情報共有・構成員活動報告等 <p>「松浜・南浜・濁川圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月29日 <ul style="list-style-type: none"> 各地区部会進捗状況報告 情報共有・構成員活動報告等 意見交換 など <p>「岡方・長浦圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月19日 <ul style="list-style-type: none"> 全体での情報共有及びグループ協議の実施 支え愛通信第7号の発行（交通マップ） SNSの運用状況報告 など <p>[課題と今後の方向性]</p> <p>コロナ禍で地域活動に制限が生じている部分があるが、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりの更なる推進が求められる。今後も支え合いのしくみづくり推進員を中心に住民同士の支援活動を推進していく。</p>
------	---


令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2		つながり、交流し、支えあう地域づくり	
基本方針2		地域での相談体制、ネットワークを広げよう	
3	事業名	子育て応援カフェ（区づくり事業 R2～R4） 「早通健康福社会館 ベビーカフェぴよぴよ」	児童福祉係
事業概要	<p>【事業の目的】 地域の子育て中の親子を対象に、カフェを開催し、交流の機会を提供することで、地域での子育ての支え合いを効果的に促進する。 専門職や講師などによる支援・講座とは、あえてリンクさせず地域の拠点にカフェを設定し、利用者とカフェスタッフ（地域住民）とが、相談・援助関係を持たないフラットな関係で、気兼ねなく利用できるようにすることで、地域の中での交流の促進と定着を目指す。</p> <p>【事業内容】 ○早通健康福社会館運営委員会が事業実施 ○カフェスタッフは早通健康福社会館の運営に協力している地域住民 対象者：主に地域に住む未就園児とその保護者 内 容：ベビー用のマットと遊具はあるが、固定プログラムなしで子どもも自由に遊べる。 保護者は、好きなお茶を飲みながら他の親子やカフェスタッフ（地域住民）と自由に交流できる。 申し込み不要・参加費は茶菓子代として親子1組 100 円 場 所：早通健康福社会館 2 階 開催日：月 1 回 月曜日開催（8 月を除く） 時 間：10:00～11:30 開催目標回数：11 回</p>		
	事業実績	<p>【事業実績】 モデル事業として、「早通健康福社会館」を会場に、未就園児と保護者の地域の中の居場所として「ベビーカフェぴよぴよ」を8回実施。 4 月 26 日 参加者 0 名 5 月 24 日 参加者 8 名（大人 3 名） 9 月 27 日 参加者 6 名（大人 2 名） 10 月 4 日 参加者 4 名（大人 1 名） 10 月 25 日 参加者 10 名（大人 4 名） 11 月 8 日 参加者 3 名（大人 1 名） 11 月 29 日 参加者 6 名（大人 2 名） 12 月 13 日 参加者 3 名（大人 1 名）</p> <p>【課題と今後の方向性】 多世代交流カフェと新たに子育て支援講座を開催することで、地域で支える子育ての促進を進めていく。</p>	

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3		だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり																	
基本方針1		地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう																	
1	事業名	大学生による家庭介護セミナー (区づくり事業)		高齢介護係															
事業概要	<p>[事業の目的] 介護について学んでいる新潟医療福祉大学の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、介護の基本的知識やスキルを身に付けてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の手段 北区内のコミュニティセンター等を会場に、学生を講師とした介護技術の習得等に関するセミナーの企画・運営・実施を行う。 ○ 期待される事業効果 介護知識・技術を身に付けた人が増加し、健康寿命の延伸と要介護・要支援認定者数の増加抑制に寄与する。 ○ 事業の計画内容 【対象】 介護に関心のある人 【セミナーの内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・学生が作成するテキスト等による、介護の基本的知識や技術説明 ・学生とセミナー参加者との交流 																		
	事業実績	<p>[事業実績] 新型コロナウイルス感染症予防のため、講座回数、定員等を変更して開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日 時</th> <th>会 場</th> <th>参加者</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>11月13日</td> <td>豊栄健康センター</td> <td>4人</td> <td>・認知症についての講話・実習</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>12月5日</td> <td>北地区コミュニティセンター</td> <td>12人</td> <td>・レクリエーション</td> </tr> </tbody> </table> <p>[課題と今後の方向性] コロナ禍の影響を受けセミナー内容の縮小はあったが、学生が大学で学んだ介護に関する知識や技術を、学生や参加者同士の交流の中で共有することにより、学生と地域との繋がりが深まり、支え合いの機運を高めることができた。今後も連携しながら事業内容を検討していく。</p>					日 時	会 場	参加者	内 容	1回目	11月13日	豊栄健康センター	4人	・認知症についての講話・実習	2回目	12月5日	北地区コミュニティセンター	12人
	日 時	会 場	参加者	内 容															
1回目	11月13日	豊栄健康センター	4人	・認知症についての講話・実習															
2回目	12月5日	北地区コミュニティセンター	12人	・レクリエーション															

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針1	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう		
2	事業名	児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」	児童福祉係
事業概要	<p>[事業の目的] 児童虐待等の相談に対して関係職員等が迅速、的確に対応し、かつ関係機関の支援・連携が円滑に行われるよう、資質向上を図る。</p> <p>[事業内容] 開催日 未定 会場 未定 対象 新潟市北区要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員等 北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、子育て支援センター、保育園、幼稚園、児童館、小学校、中学校、ひまわりクラブ、主任児童委員、北区健康福祉課</p> <p>内 容 ①講演（テーマ及び講師は未定） ②地区ごとに分かれての情報交換会</p>		
事業実績	<p>[要保護児童対策地域協議会について] 別紙参考資料1のとおり</p> <p>[事業の成果] 令和3年12月22日（水）開催 要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員 60名参加</p> <p>[課題と今後の方向性] 要保護児童への支援をおこなっている関係者や関係機関への研修は今後ますます重要と考える。研修と共に実施している情報交換会も重要な機会であるが、多数が集まったの会となるためオンラインを取り入れた形での開催方法も視野にいれつつ継続実施に努める。</p> 		

【別紙参考資料 1】新潟市北区要保護児童対策地域協議会について

1 新潟市北区要保護児童対策地域協議会 実務者会議のケース件数

(きょうだい事例はひとりにつき1件)

主な内容	人 数				児童の年齢	人 数			
	H29	H30	R 1	R 2		H29	H30	R 1	R 2
身体的虐待	9	8	3	1	0歳～3歳未満	5	6	11	5
性的虐待	0	0	0	0	3歳～就学前	7	7	8	9
心理的虐待	9	9	12	6	小学生	9	9	9	4
ネグレクト	9	12	14	12	中学生	5	6	2	4
要支援家庭	6	5	4	4	高校生・その他	7	6	3	1
合 計	33	34	33	23	合 計	33	34	33	23

(※新規5件，継続18件，継続で年度内終結15件)

2 児童について新規相談で受け付けた件数(のべ件数)(家庭児童相談室)

	R 2	相 談 内 容
児童虐待相談	28	面前DVによる心理的虐待，身体的虐待，ネグレクト等
その他の養護相談	29	養育環境の問題，生活環境の不安定等
育成相談	16	不登校，発達障がい，育児・躾に関する相談等
特定妊婦・その他	4	未婚での妊娠，児の育児・養育力不足，経済的困窮等
合 計	77	

虐待の通告経路では，保育園，学校，保健師，警察署，主任児童委員等，様々な機関や地域の方々から情報が寄せられており，各関係機関を通しての情報の共有や協力がなされている。北区の児童虐待相談件数としては，虐待そのものの相談が減少傾向にあり，育成相談が昨年の4倍にも増加している。子育て世代の悩みがそのまま反映されている数値ではあるが，各関係機関が相談者の話を傾聴し，寄り添い，アドバイスし，支援を継続していくことが，問題解決の糸口となっている。地域の主任児童委員の方々をはじめ，警察署や北区教育相談室，教育支援センター，児童相談所，学校，保育園，保健師，障がいサービス等の各関係機関が行政と共に行動連携することで，虐待防止にかかる支援体制を実質的なものに行っているのである。

3 関係機関との連携

- 年間12回程度 新潟市北区要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し，支援状況の報告と確認をしている。今年度も適宜新規ケースも含み，実施していく予定。

(実務者会議構成機関)

児童相談所，新潟北警察署，北区教育相談室，北区教育支援センター，主任児童委員，北地域保健福祉センター，北区健康福祉課，弁護士，行政各係など

- 年1回北区で研修会を開催している。

(地区連絡会構成機関)

主任児童委員，新潟北警察署，北区教育相談室，北区教育支援センター，保育園，幼稚園，小学校，中学校，ひまわりクラブ，児童館

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針2	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう		
1	事業名	ふゆっこまつり開催（区づくり事業 R2～R4） 「第14回北区ふゆっこまつり」	児童福祉係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸外で遊べない冬の新潟で、親子で思い切り遊べる場を提供し、児童の健全育成と子育て支援の推進を図る。 ・事業を通し、子育て支援や児童健全育成に関わる個人・団体・ボランティアの交流・ネットワークを深め、地域で子育てを支え合う輪をつなぐ。 <p>[事業内容]</p> <p>主催 北区ふゆっこまつり実行委員会 主催者である実行委員は、区政推進のために「第1回ふゆっこまつり」の立ち上げから携わっている有志区民と、区内関係団体から推薦された団体員（職員）と、新潟医療福祉大学職員及び学生で構成されている。</p> <p>後援 新潟医療福祉大学、新潟市教育委員会、北区文化会館 期間 令和4年1月18日（火）～令和4年2月20日（日） 対象 主に乳幼児から小学校低学年くらいまでの親子 内容 工作キットの配布、パネル等の設置 等</p>		
事業実績	<p>[事業実績]</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業内容・期間を変更して実施。</p> <p>○北区の木造建築会社から出た端材を利用して作った絵馬工作キットの配布と展示</p> <p>工作キット配布期間 1月18日～2月18日 工作キット配布場所 豊栄総合体育館、北地区スポーツセンター、北区役所、北地区公民館、北区文化会館（以上5箇所）</p> <p>○フォトスポットを活用したSNSによる交流機会の創設</p> <p>パネル設置期間 12月15日～2月20日 パネル設置場所 北区文化会館</p> <p>[課題と今後の方向性]</p> <p>今年度と同様に実施可能な事業内容を検討しつつ、事業継続に向けて取り組む。</p>		

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
1	事業名	各種がん検診の周知	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] がん検診受診率の向上を図るため、区内の医療機関や事業所等と連携し、啓発活動を進めるとともに、「区役所だより」・「コミ協だより」への掲載、検診カレンダーの全戸配布などを行い、検診の周知を図る。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 広報用ポスター・健康づくりミニブックを作成し、委託医療機関や調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ② 検診カレンダー全戸配布 ③ 区だより掲載 年8回 ④ コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤ 検診開催時PR ⑥ 健康教育や地域保健活動でPR ⑦ 公用車にがん検診受診推進PRポスターを添付する ⑧ 北地区へ回覧板で周知 		
	事業実績	<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 広報用ポスター・健康づくりミニブックを作成し、委託医療機関や調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ② 検診開始前の4月に、検診カレンダー全戸配布 ③ 区だより掲載 8回 ④ コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤ 集団健診開催時、受診者へ個別にPR ⑥ 健康教育や地域保健活動でPR ⑦ 公用車にがん検診受診推進PRポスターを添付 ⑧ 松浜地区での回覧板は新型コロナウイルス感染症の関係で中止 <p>[課題と今後の方向性] 今年度と同様に取り組み</p>	

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
2	事業名	特定健康診査の受診率向上	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 健康寿命の延伸および生活習慣病予防のため、特定健診の受診率を向上させる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 国保新規加入者へ電話での受診勧奨 対 象 者：令和3年6月受診券送付者の内、国民健康保険加入者の60～67歳。</p> <p>② 看護職による電話での受診勧奨 対 象 者：令和2年度、ミニドック対象者で受診率の低い40歳台、50歳台を中心。</p> <p>③ ミニドック型集団健診の実施 実施内容：特定健診のみ受診、またはオプションで各種がん検診（肺、胃、大腸、前立腺、乳）、ピロリ菌検査、肝炎ウィルス検査を選択できるものとする。 対 象 者：以下のいずれも該当する人 ・受診日当日に新潟市国民健康保険に加入している ・令和4年3月31日現在の年齢が41歳から74歳 ・令和元年4月1日以降、新潟市国民健康保険加入者対象の特定健診未受診（3年連続未受診者）</p> <p>日 程：午前 会 場：3会場 定 員：100人×3回＝300人 周知方法：対象者に案内チラシを郵送する。 (令和3年7月5日㊞連合会請求受付分までを受診済とする)</p>		

2	事業名	特定健康診査の受診率向上	健康増進係
---	-----	--------------	-------

事業実績	[事業の成果]																																																											
	① 新規国保加入者への電話による受診勧奨																																																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・60～67歳まで対象を拡大し実施、不在の場合、時間帯を変えて最低でも3回架電 ・対象者228人中、通話できた人は168人。そのうち特定健診を受診した人数は23人（13.7%）昨年度同時期の受診割合13.8%と同程度。 ・本人と話ができた人のうち、受診済み4人、予約済み2人、受診了承54人、受診検討17人、合わせると77人（89.5%）が良い反応だった。 																																																											
	② 看護職による電話での受診勧奨																																																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニドック対象者で受診率の低い40歳台、50歳台を中心に実施 ・ミニドック申込希望者は、受け付ける。 ・不在の場合は時間帯を変えて最低3回架電。 																																																											
	表1 架電結果	表2 受診拒否の理由																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>結果項目</th> <th>件数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診済み</td> <td>4</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>受診了承</td> <td>41</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>受診検討</td> <td>107</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>市以外の健診で受診</td> <td>49</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>受診拒否</td> <td>40</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>架電拒否</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>案内済み</td> <td>111</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>不在・トーキー等</td> <td>123</td> <td>25.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>486</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	結果項目	件数	構成比	受診済み	4	0.8%	受診了承	41	8.4%	受診検討	107	22.0%	市以外の健診で受診	49	10.1%	受診拒否	40	8.2%	架電拒否	0	0.0%	案内済み	111	22.8%	その他	11	2.3%	不在・トーキー等	123	25.3%	合計	486	100%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>件数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関に入・通院</td> <td>24</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>面倒</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>時間がとれない</td> <td>2</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>必要性を感じない</td> <td>4</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>健康状態に自信あり</td> <td>5</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		理由	件数	構成比	医療機関に入・通院	24	60.0%	面倒	0	0.0%	時間がとれない	2	5.0%	必要性を感じない	4	10.0%	健康状態に自信あり	5	12.5%	無回答	5	12.5%	合計	40	100%
	結果項目	件数	構成比																																																									
	受診済み	4	0.8%																																																									
	受診了承	41	8.4%																																																									
受診検討	107	22.0%																																																										
市以外の健診で受診	49	10.1%																																																										
受診拒否	40	8.2%																																																										
架電拒否	0	0.0%																																																										
案内済み	111	22.8%																																																										
その他	11	2.3%																																																										
不在・トーキー等	123	25.3%																																																										
合計	486	100%																																																										
理由	件数	構成比																																																										
医療機関に入・通院	24	60.0%																																																										
面倒	0	0.0%																																																										
時間がとれない	2	5.0%																																																										
必要性を感じない	4	10.0%																																																										
健康状態に自信あり	5	12.5%																																																										
無回答	5	12.5%																																																										
合計	40	100%																																																										
※ 11月5日ゞ連合会請求受付分データにより14人の受診を確認。																																																												
③ ミニドック型集団健診の実施																																																												
定員は昨年度の80人から100人に増やしたが、申し込みが少なく、充足率48.0%だった。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>特定健診対象者数</th> <th>ミニドック案内発送数</th> <th>受診数</th> <th>案内者に対する受診率</th> <th>ミニドックで増加する受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,312人</td> <td>5,213人</td> <td>144人</td> <td>2.8%</td> <td>1.08%</td> </tr> </tbody> </table>	特定健診対象者数	ミニドック案内発送数	受診数	案内者に対する受診率	ミニドックで増加する受診率	13,312人	5,213人	144人	2.8%	1.08%																																																		
特定健診対象者数	ミニドック案内発送数	受診数	案内者に対する受診率	ミニドックで増加する受診率																																																								
13,312人	5,213人	144人	2.8%	1.08%																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">日時/会場</th> <th colspan="2">受診者数（定員充足率）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月5日（土）</td> <td>午前</td> <td>北地区コミュニティセンター</td> <td>42人</td> <td>（42.0%）</td> </tr> <tr> <td>11月7日（日）</td> <td>午前</td> <td>豊栄健康センター</td> <td>52人</td> <td>（52.0%）</td> </tr> <tr> <td>11月8日（月）</td> <td>午前</td> <td>豊栄健康センター</td> <td>50人</td> <td>（50.0%）</td> </tr> </tbody> </table>			日時/会場			受診者数（定員充足率）		11月5日（土）	午前	北地区コミュニティセンター	42人	（42.0%）	11月7日（日）	午前	豊栄健康センター	52人	（52.0%）	11月8日（月）	午前	豊栄健康センター	50人	（50.0%）																																						
日時/会場			受診者数（定員充足率）																																																									
11月5日（土）	午前	北地区コミュニティセンター	42人	（42.0%）																																																								
11月7日（日）	午前	豊栄健康センター	52人	（52.0%）																																																								
11月8日（月）	午前	豊栄健康センター	50人	（50.0%）																																																								

2	事業名	特定健康診査の受診率向上				健康増進係	
事業実績	< 特定健診受診者数・受診率 >						
		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		市全体	北区	市全体	北区	市全体	北区
	対象者数(人)	132,911	13,543	129,443	13,223	130,439	13,312
	受診者数(人)	4,8456	4,581	42,866	4,180	19,039	1,715
受診率	36.46% (17.57%)	33.83% (15.64%)	33.12% (13.43%)	31.61% (12.67%)	14.60%	12.88%	
※令和3年度は、令和3年11月5日までに国保連合会を經由し医療機関から提出された数。()内は各年度の同時期11月5日時点での受診率。							
[課題と今後の方向性]							
<ul style="list-style-type: none"> ① 新規国保加入者に対し、受診方法について丁寧に説明する必要があることから継続実施する。 ② 看護職による電話での受診勧奨・ミニドックの受付は効果があるため、日数を増やして実施する。 ③ ミニドック型集団健診は、一度に健診を受けられる利点があり、案内が届くことで受診行動につながり、受診率向上に効果があるため継続実施する。 							

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり														
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう														
5	事業名	北区もの忘れ検診 (区づくり事業 R2～R4)	健康増進係												
事業概要	<p>[事業の目的] 認知機能の低下している高齢者を早期に発見し、認知症への移行を防ぐとともに、認知症の進行を遅らせるため、適切な治療・サービスにつなげる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 北区もの忘れ検診の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td colspan="2">北区に住民票がある令和3年度65歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人</td> </tr> <tr> <td>実施医療機関</td> <td colspan="2">北区内の13医療機関</td> </tr> <tr> <td>検診内容</td> <td colspan="2">簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診時に実施。</td> </tr> <tr> <td>精密検査</td> <td colspan="2">もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。</td> </tr> </table> <p>② 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に検診カレンダーに併せ、もの忘れ検診チラシを全戸配布 ・4月区役所だよりに掲載 ・チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布 ・健康づくりのミニブックに掲載 ・地域包括支援センター、支えあいのしくみづくり推進員など、地域の関係機関へ受診勧奨協力依頼 ・各種保健事業や地域活動の際にPR <p>③ 検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会(協力医療機関医師参集)2回、症例検討会1回 北区医師会班会議で報告2回 予定 <p>④ 地域での認知症予防活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の発症や重症化予防のため、日中高齢者が集まる場所やサロン等に、運動普及推進委員と共に出向き運動や脳トレを実施。 			対象者	北区に住民票がある令和3年度65歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人		実施医療機関	北区内の13医療機関		検診内容	簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診時に実施。		精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。	
	対象者	北区に住民票がある令和3年度65歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人													
	実施医療機関	北区内の13医療機関													
	検診内容	簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診時に実施。													
	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。													

[事業の成果]

① もの忘れ検診実施状況 (R3.12末現在)

一次受診者	合計	構成比
合計	635	100.0%
異常なし	628	98.9%
要経過観察	3	0.5%
要精密検査	4	0.6%

② 啓発活動

- ・4月に検診カレンダーに併せ、もの忘れ検診チラシを全戸配布
- ・4月区役所だよりに掲載
- ・チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布
- ・健康づくりのミニブックに掲載
- ・地域包括支援センター、支えあいのしくみづくり推進員など、地域の関係機関へ受診勧奨協力依頼
- ・各種保健事業や地域活動の際にPR


③ 検討会の開催

- ・新型コロナウイルス感染症の対応・予防接種が優先し、症例検討会は未実施。
- ・12月、医師会15班もの忘れ検診検討委員の医師に、現状を説明し、受診者数を増やす対策について相談した。
- ・11月に地域包括支援センター連絡会議にて、地域包括支援センターのフォロー状況や受診勧奨の現状、改善点などの意見を聞いた。

④ 地域での認知症予防活動について

- ・認知症の発症や重症化予防のため、日中高齢者が集まる場所やサロン等に、作業療法士(職員)・運動普及推進委員が出向き運動や脳トレを実施。14回実施、参加者延196人(R3.12末現在)


令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
6	事業名	始めよう！ウオーキングで健康づくり	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣がない方に、運動を始めるきっかけをつくる。 ・安全で効果的なウオーキング実践方法を学び、運動づくりに活かす。 <p>[事業内容]</p> <p>会場：豊栄総合体育館・北地区スポーツセンター 日程：各会場3回。計6回実施 対象：40歳以上で参加希望の方（医師の運動制限のない人）10名 内容：健康づくりに効果的なウオーキング（講義・実技） 講師：体育館・スポーツセンター職員</p>		
	事業実績	<p>[事業成果・実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊栄総合体育館3回、参加者数19人 ・北地区スポーツセンター2回、参加者数9人 （新型コロナウイルス感染症予防のため1回中止） ・結果(終了時アンケートより) 参加者の9割が正しいウオーキング方法を理解できた。 ・参加者全員が講座終了後も運動を継続する。 <p>[課題と今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者が少なかった。 ・講師よりウオーキングのみの内容では参加者が集まりにくい、ウオーキングを続けるために必要な筋トレも内容に取り入れた。方がよいと助言があった。来年度の実施で検討する。 ・地域の体育施設での開催は、講習会終了後も、施設を利用し、運動継続につながりやすい。今後も、施設と協働し、区民が自ら運動継続できるよう引き続き支援していく。 	
			

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
7	事業名	健康増進普及講習会	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <p>生活習慣病の一次予防を目的として、運動、栄養、休養等の生活習慣を柱に健康づくりを啓発普及するとともに、市民の健康づくりの定着を図るため、新潟市食生活推進協議会と共催し、地域のニーズを反映したテーマで講習会を実施する。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月～2月 10回 ・会場 区内のコミュニティセンター等 ・対象 一般市民 ・内容 保健師、管理栄養士による講話 簡単な体操、レクリエーション等 ・周知 チラシ、「区役所だより」、各地区広報誌等 		
事業実績	<p>【事業成果・実績】</p> <p>コロナウイルス感染拡大防止のため調理実習は行わず、講話、手洗いチェック、みそ汁の塩分測定、血管年齢測定等を実施。 実施回数：10回 参加者数：延べ86名</p> <p>アンケート結果（一部）※回収率81%</p> <p>○参加後、減塩に気を付けているか （※過去に参加したことがある方を対象に質問） 気を付けている35% 少し気を付けている56% 気を付けていない9%</p> <p>○講習会の内容はどうか よかった96% 普通4% 悪かった0%</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度実施回数未定。 ・例年リピーターが多いことが課題。今年度は地域の茶の間等、例年と異なる会場での実施が多かったため、初参加が約半数であったが、今後も周知方法を工夫していく。 ・コロナ禍で調理実習ができない状況が続いており、実施内容についても検討していく。 		

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
8	事業名	生活習慣病予防教室（血圧元気塾）	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 脳血管疾患・高血圧重症化予防を重点とし、生活習慣病予防の知識普及、生活行動の改善・実施を目的とする。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：公開講座1回、2回コース型講座を3回実施。 ・開催日：6月～10月 ・会場：豊栄健康センター ・対象、定員 公開講座のみ（30名）： おおむね40歳以上で高血圧予防に関心のある者 コース（20名）： 令和2年度特定健診受診者で下記の条件にあう者 <ul style="list-style-type: none"> ① おおむね70歳未満 ② 収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上（受診勧奨値）の者 ・内容 公開講座：医師の話、栄養士の話 2回コース：保健指導、運動指導、食事指導、各回グループワーク、毎回血圧測定し健康チェック表記入、食事記録記入 ※公開講座、2回コースともに、参加者に尿検査を実施 ・周知 上記コース対象者へ案内の個別通知、チラシを保健センターなどに設置、区役所だよりやコミセン便りなどに掲載、地区活動でPR 		
			

事業実績	<p>[事業の成果]</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座参加者【豊栄健康センター】21名 ・2回コース【木崎コミュニティセンター】延べ12名 【豊栄健康センター】8名 ※2回中1回をコロナウイルス感染拡大防止のため中止 【北地区公民館】延べ18名 <p style="text-align: right;">合計延 59名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿検査による推定食塩摂取量の変化（2回コースのみ） 23名中13名（56.5%）がコース実施前後を比較し食塩摂取量減少。 （初回平均 9.5g 2回目平均 8.9g） ・尿検査による推定カリウム摂取量変化（2回コースのみ） 23名中11名（47.8%）コース実施前後を比較し推定カリウム摂取量増加。 （初回平均 1774mg 2回目平均 1734mg） <p>○アンケート結果等より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70代の参加が最も多かった。 ・参加のきっかけは区だよりと答えた参加者が多かった。血圧が高い方を対象に個別案内も行っているが、参加につながったのは401人中3人と少数だった。 ・教室参加前はみそ汁を1日2～3回飲んでいると回答した方が73%いたが、参加後は13%になり1日1回に控えるようになるなど、行動に変化が見られた。 ・参加者の90%以上が今後、生活習慣を改善する意思がある、もしくはすでに改善に取り組んでいた。また、「漬物類を少なくするよう心がけるようになった」、「血圧計を購入し、毎日測定するようになった」等の感想が寄せられた。 <p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は2回コースを3回実施予定。 うち1回は公開講座として実施予定。うち2回は、コミュニティ協議会等の地域団体に協力を仰ぎ、対象地域を定めて実施予定。 ・尿検査（尿中塩分測定）を引き続き実施する。 ・血圧以外に血糖、血中脂質も課題となってきたため、それらに関する予防、改善の内容も講話に組み込んでいく。 ・個別案内が参加のきっかけとなる割合は少なかったが、案内に知識啓発のリーフレットも同封しており、教室に参加できない方向けの情報提供のために、今後も個別案内は継続していく。
------	--

令和3年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
9	事業名	フレイル予防	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 健康な状態と要介護状態の間であるフレイル(虚弱)を予防し、健康寿命延伸を目的に実施。フレイルチェックの実施と、各種健康教室、講座等を提供し、高齢者自身で生活習慣改善に取り組めるよう、コミュニティ協議会や支え合いの推進委員や地域包括支援センターなど関係機関と連携して支援する。</p> <p>[事業内容] 〈拠点型〉 会 場：北地区コミュニティセンター、葛塚コミュニティセンター 日 程：各会場2回 9月と3月に実施予定。計4回実施 対 象：65歳以上で参加希望の方（医師の運動制限のない人） 定 員：1回30人 内 容：フレイルチェック(簡易チェック、深堀チェック) 運 営：地域包括ケア推進課、フレイルサポーター・トレーナー 〈地域出前型〉 地域の茶の間、老人クラブなどの依頼により、北区健康増進係職員やフレイルサポーターが地域に出向き、簡易フレイルチェックを利用しフレイル予防の普及啓発を行う。</p>		
事業実績	<p>[事業の成果] 〈拠点型〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 北地区コミュニティセンター9月開催 ➡新型コロナウイルス感染症予防のため中止 葛塚コミュニティセンター9月開催 参加者25人 1回目終了後、2回目に向けて自らフレイル予防の取り組みができるよう予防教室をコミ協と協働で3回実施。延41人参加。 <p>〈地域出前型〉 地域の茶の間・老人クラブなどで開催 合計6回 参加者116人</p> <p>〈フレイル予防事業実施体制づくり〉 11月にフレイルサポーター会議を開催し、支え合いの推進員や地域包括支援センターなど地域の関係機関が連携支援し、サポーターが地域で予防活動に積極的に取り組んでいくことを確認した。</p>		

[今後の方針]

〈拠点型〉

- ・令和4年度は北地区・葛塚コミュニティセンターに加えて、岡方コミュニティセンターでも実施する。
- ・2回参加できる人をなるべく募集する。
- ・1回目と2回目の間に、フレイル予防教室3回コースを実施する。

〈地域出前型〉

- ・関係機関と連携し、フレイルサポーターの協力を得て、基拠点でのフレイルチェックと共に地域の茶の間などで簡易フレイルチェックを実施活用し、地域でのフレイル予防の普及啓発を図る。

〈フレイルサポーター養成・育成〉

- ・コミ協に協力いただき、フレイルサポーターの人数を増やす。
地域で活動できるよう、サポーター会議を開催し体制作りを進める。